



全日本建設交運一般労働組合
全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
 大阪府堺市西区石津西町12番

TEL 072-241-6660

メール ctgsansobukai@ybb.ne.jp

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

高压ガスの輸送 保安講習会



日本産業・医療ガス協会の徳富栄一郎氏



経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部の吉田武司氏

2017年10月15日(日)14時より、高压ガスの輸送保安講習会が大阪PLP会館で開催され、経営者2名、組合員47名 計49名の方が参加されました。

講師に経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部の吉田武司氏と、日本産業・医療ガス協会から徳富栄一郎氏が招かれ開会となりました。

講習は、「高压ガスの移動時における事故等について」「高压ガス保安に関する法令等改正について」を資料とパワーポイントで説明されました。

はじめに経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部の吉田武司氏の講義で、高压ガス全体の事故件数は、平成28年人身事故件数は36件(対前年比マイナス14件)であり、死者は4名(対前年比プラス2名)及び負傷者(重傷者と軽傷者の計)47名(対前年比マイナス21名)でありました。

製造事業所においては残念ながら平成12年以降増加傾向ですが、移動の事故は減少しているものの概ね横ばいで推移している現状のようです。

次に日本産業・医療ガス協会の徳富栄一郎氏より、高压ガス保安法の改正があり①新技術等普及に円滑に対応する見直し②自主保安の高度化を促す見直し③高压ガス行政の権限移譲 の詳しい解説がありました。

講義を聴き、改めて日々高压ガスの輸送に携わっている自分に対して安全教育の重要性を感じ、明日からの業務に活かしていきたいと思えます。

寿運送分会 宗正芳



建交労全国酸素部会 第35回定期総会

10月15日(日)、全国酸素部会第35回定期総会が大阪のPLP会館で開催されました。

全国から41名が参加された総会の議長には、東進産業分会の須田さんと江藤分会の夏田さんが選出されました。

はじめに全国酸素部会の米田部会長から、今の情勢報告と、私たちの運動を通じて安全、安心に向けての取り組みを前進させることや組織拡大と労働条件を勝ち取っていく内容の挨拶がなされました。来賓として大阪府本部の荻田書記長と海コン部会の上田事務局長から共に闘う仲間として激励の挨拶がありました。また中央本部の鈴木書記次長からは、「働き方改革の実態」の学習会が開かれました。全国酸素部会の鷹巣事務局長から2017年度一般経過報告として、経済闘争やアンケート、労使共同の取り組み、組織拡大などの総括と到達点、今後のとくみの報告がありました。質疑・討論では6名から発言がありました。AIJ連絡会と大陽日酸連絡会をはじめ、SEE、テーエス支部の争議の報告、立正の和解報告、産業ガステクノ支部からは健全な労使関係を構築するために全国酸素部会と共に奮闘した報告があり、各地域や職場でも成果が明確に現れている内容でした。また、新しく全国酸素部会に加わった酸和運送分会と九州液送分会の仲間からも紹介の報告がありました。工業ガス業界をめぐる情勢の特徴をふまえ、2018年度運動方針の具体的展開、組織建設、トラック政策を全面にすえた要求・権利と統一闘争の提案がなされ総会宣言(案)と共に採択されました。

閉会に金川産業の岡本副部会長が挨拶され、米田部会長の団結がんばろうで第35回定期総会が閉会しました。

神奈川県南支部イワサワ分会 齋藤 健人



中央本部の鈴木書記次長



全国酸素部会の米田部会長



全国酸素部会の鷹巣事務局長

大陽日酸 連絡会

第30回大陽日酸連絡会が10月14日大阪PLP会館で開催され、11職場22名の参加でした。

各職場の現状報告と対策では、主に再雇用の賃金・労働条件が話し合われ、今後再雇用者が増える職場が多い中、より良い条件を勝ち取る為に意見の交換が交わされました。

次にメーカーとの懇談会の開催にむけて、引き続きバルブの不備などのデータを収集し、安全・安心の観点で進めて行く事を再確認しました。

交流会では、新しく仲間になった九州液送分会の井上さんのカンパいの音頭で始まり、多いに盛り上がりました。

東進産業分会 須田 圭二

